

1. 件名：福島第一原子力発電所における地すべりの可能性の検討に関する面談
2. 日時：令和5年4月3日（月）13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

林技術研究調査官

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

正岡企画調査官

地震・津波審査部門

野田企画調査官、海田主任安全審査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 4名

原子力設備管理部 1名

プロジェクトマネジメント室 4名（うちテレビ会議システムによる出席3名）

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、昨年12月7日の特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）の議題2「福島第一原子力発電所における地すべりの可能性の検討について」における原子力規制庁からのコメントを踏まえ、資料に基づき、以下の説明があった。
  - 敷地内の富岡層風化部の分布状況
  - 風化部による地盤の地震時応答への影響検討
  - 敷地内のボーリング調査計画
  - 追加2地点の地形判読結果
- 原子力規制庁は、東京電力の説明内容に関して事実関係を確認するとともに、以下のとおりコメントした。また、本件については、今後、技術会合で扱う旨を伝えた。
  - <風化部による地盤の地震時応答への影響検討>
    - 「風化部厚さによる施設の耐震評価への影響」に関して、地表面と段丘堆積物以深で加速度が逆転している点やDタンクエリアのタンクが地震時に有意な滑動が生じている点について考察を加えること
  - <敷地内のボーリング調査計画>
    - 重要施設等の背後斜面の地盤安定性に関して、本調査計画との関係（有無を含めて）を整理して示すこと
  - <追加2地点の地形判読結果>
    - 下小埜地点の地形断面図2において、L3段丘面の上流側にそれより低いL3段丘面が存在する理由について考察を加えること
    - 塚原地点について、南北性の地形断面図を追加すること
- 東京電力から、上記コメント等について了解した旨の回答があった。

## 6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所における地すべりの可能性について～コメント回答～

以上